SPEEDIA N3000シリーズ

ソフトウェアマニュアル プリンタドライバ編

プリンタドライバの各種機能の説明と設定方法について記載されています。

T-873P-6C
MA0704-D　2007年4月3日　第5版発行

目次

1. Windowsプリンタドライバについて

ここでは、Windows環境で本プリンタをご使用いただくために必要なプリンタドライバについて説明します。

■ プリンタドライバとは

プリンタを制御するためのソフトウェアです。プリンタドライバは、アプリケーションからの印刷命令をプリンタ固有の制御コマンドに変換してプリンタに送ります。
Windows環境での印刷には、プリンタドライバが必要です。

■ プリンタに添付されている専用プリンタドライバを使用するメリット

- プリンタに最適な制御コマンドを高速に生成して印刷します。
- プリンタの能力を最大限に発揮する多彩な機能を使うことができます。

■ プリンタドライバを使用する際の注意事項

- プリンタドライバには多種多様の設定があり、設定の違いにより印刷速度や印刷結果が異なる場合があります。
- アプリケーションや印刷内容により最適な設定は異なりますので、各設定の特徴をご理解の上、最適な設定でご使用ください。

■ 対応OS

対応するWindowsは下表の通りです。Windowsプリンタドライバは、各Windows専用のものをご利用ください。
使用するOS環境により、プリンタドライバの利用できる機能が異なる場合があります。

対応OS（Windows operating system）	略称	対応プリンタドライバ
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows 98	Windows 98/Me対応プリンタドライバ
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system	Windows Me	
Microsoft® Windows® 2000 operating system	Windows 2000	Windows 2000/XP/Server2003/Vista対応プリンタドライバ
Microsoft® Windows® XP operating system	Windows XP	
Microsoft® Windows Server® 2003 operating system	Windows Server 2003	
Microsoft® Windows Vista™ operating system	Windows Vista	

※ 本書では、OSの表記について上記略称のように省略して記載する場合があります。
また併記する場合は「Windows 98/Me、Windows XP/Server 2003/Vista」のように「Windows」を省略する場合があります。
※ USBを使用できる環境は、対応OS（Windows 98を除く）がプレインストールされたコンピュータまたはクリーンインストールされたコンピュータに限ります。アップグレードしたOS環境では正しく動作しない場合があります。(サポート対象外です。)
※ 標準でインストールされるプリンタドライバは、日本語環境専用です。その他の言語のWindowsには対応しておりません。
(英語環境用には、別途英語環境専用のプリンタドライバを収録しています。プリンタフォルダの「Add printer」から、CD-ROM の¥Drivers¥English に収録しているプリンタドライバをインストールしてご使用ください。誠に勝手ながら、海外アプリケーションなどのサポートおよびお問い合わせには、対応致しかねますのでご了承ください。)
※ プリンタ本体に同梱されているプリンタドライバは、32bit（x86）Windows 専用です。x64Edition 対応プリンタドライバについての情報はホームページ http://casio.jp/ppr/ をご覧ください。
※ ホームページ http://casio.jp/ppr/ にて随時、最新版の提供を行っています。

注意

- 本マニュアルに記載されていない最新の情報が、プリンタドライバのヘルプ、もしくはテキストファイルに記載されていることがあります。また、Windows 特有の制限・注意事項などに関するドキュメントファイルが Windows にも添付されています。本マニュアルと併せて必ずご一読ください。
- Windowsに関する操作や概要については、Windowsに付属のマニュアルなどをご覧ください。
- 印刷方法については、印刷を行う各アプリケーションのマニュアルなどを確認してください。
- 本マニュアルに記載されているプリンタドライバの機能、操作方法、画面デザインは、機能拡張や改良のため、予告なく改変されることがあります。
- 本書に掲載のWindows画面表示は、特に指定がない限りWindows XP環境で、N3500の画面を例に説明しています。
- ご使用環境によって、実際の画面表示と本文中の画面の図とで差異が見られる場合があります。あらかじめご了承ください。
- SPEEDIAはカシオ計算機株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows ServerおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載された会社名および製品名などは、該当する各社の登録商標または商標です。
  ※ 本書中またはソフトウェア上の記載には、必ずしも商標表示（®、™マーク）を付記していません。

2.プリンタドライバのセットアップ

本プリンタをWindows環境でご使用いただくには、プリンタドライバのセットアップが必要です。☞ **ソフトウェアマニュアル セットアップ編**を参照し、CD-ROMからセットアップウィザードを使用してセットアップを行ってください。

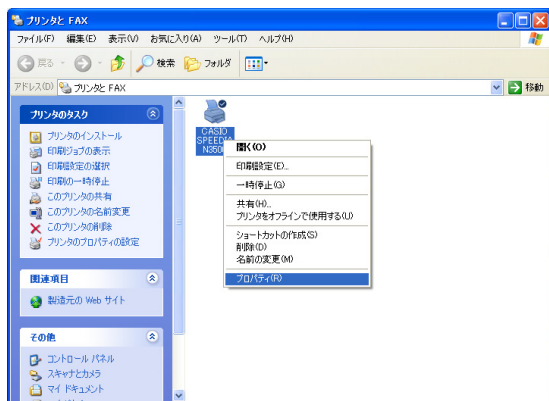
※ プリンタドライバのインストールおよび設定を行うためそれぞれのアクセス権が必要です（Windows 98/Meを除く）。アクセス権については、コンピュータの管理者に確認してください。

※ Windows標準の「プリンタの追加」でCD-ROMからプリンタドライバをインストールする方法については、☞ **付録 「プリンタの追加」によるインストール（41 ページ）**をご覧ください。

※ Windows標準の「プリンタの追加」では、プリンタドライバ以外のユーティリティがインストールされません。
プリンタドライバ以外のユーティリティをインストールしないと、プリンタドライバの一部の機能が制限されるなどプリンタの機能を最大限に活用できなくなりますので、セットアップウィザードを使用してインストールすることをお勧めします。

3.プリンタドライバの環境設定

プリンタドライバのセットアップが完了したら、プリンタドライバの環境設定を行います。

3.1 環境設定

環境設定は、「プリンタ」フォルダで設定するプリンタを選択し、「ファイル」メニューから「プロパティ」を開き、「環境設定」タブで行います。
各Windowsでの「プリンタ」フォルダの開き方は次の通りです。

Windows XP
「スタート」メニューの「プリンタとFAX」をクリック。
Windows Vista
「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開き「プリンタ」をクリック。
Windows 2000/Me/98
「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」をクリック。

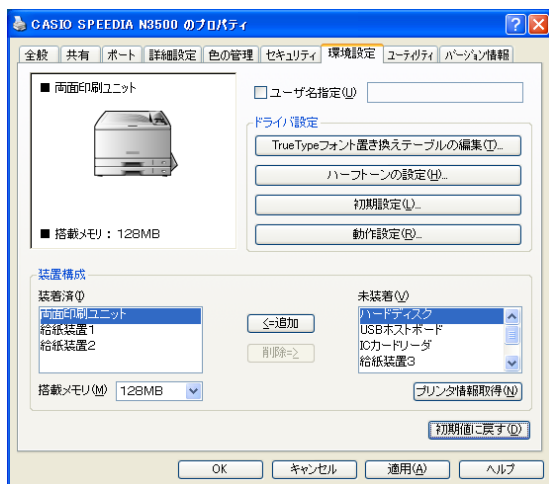
※「環境設定」は、アプリケーションから開くプリンタ設定（プロパティ）からは設定できません。
また「プリンタ」フォルダの「ファイル」メニュー「印刷設定」からも設定できません。

1. ユーザ名指定

ヘッダ・フッタ印刷、プリンタ表示パネルの表示文字列などで使用するユーザ名を設定します。設定しない場合は、Windowsのログオンユーザ名が使用されます。

※ 本設定は、セキュリティ機能（ID印刷、コピーガード印刷）で使用するユーザ名には影響しません。
セキュリティ機能で使用するユーザ名には、常にログオンユーザ名が使われます。

2. ドライバ設定

通常は設定を変更する必要はありません。

3. 装置構成 ー 搭載メモリ

プリンタに装着しているメモリ容量を設定します。

4. 装置構成 ー プリンタ情報取得

プリンタ装置構成の設定が自動で適切な内容に設定されます。使用できない場合はボタンがグレー表示になります。この場合は、接続されているプリンタの構成に合わせて、手動（「追加」／「削除」ボタンをクリック）して装置構成を設定します。

5. 装置構成 ー 追加／削除

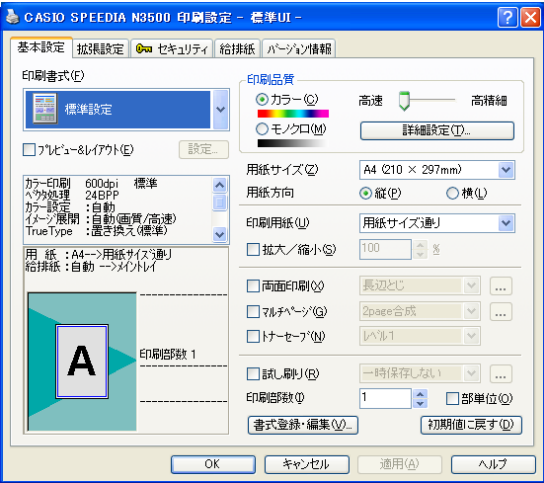
装置構成を手動で設定します。追加／削除する装置を選んでボタンをクリックします。選択した装置がリストを移動します。（プリンタ構成の図も変更されます。）

※ 装置構成を正しく設定しないとプリンタドライバの機能が制限されたり、正しい印刷結果が得られなくなる場合があります。
※ プリンタ機種により装着できるオプション装置が異なります。

3.2 印刷設定画面の選択

本プリンタドライバは、印刷設定画面の UI（User-Interface：ユーザインターフェイス＝プリンタドライバの設定画面）を二通り持っています。標準的なプリンタドライバのインストールを行うと「標準UI」が表示されます。

● 標準UI

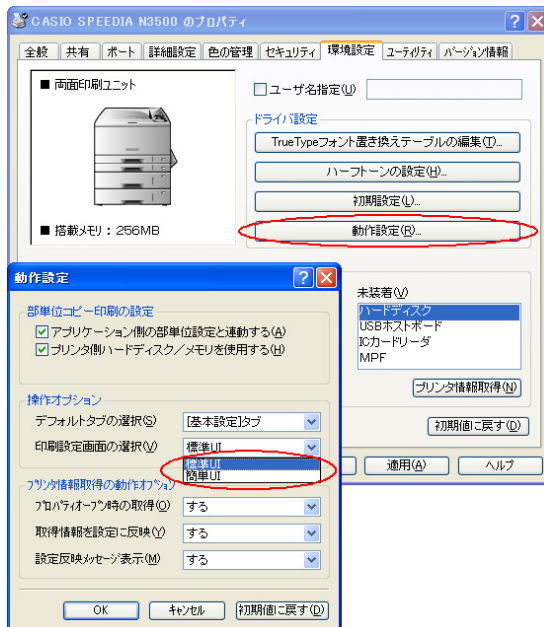
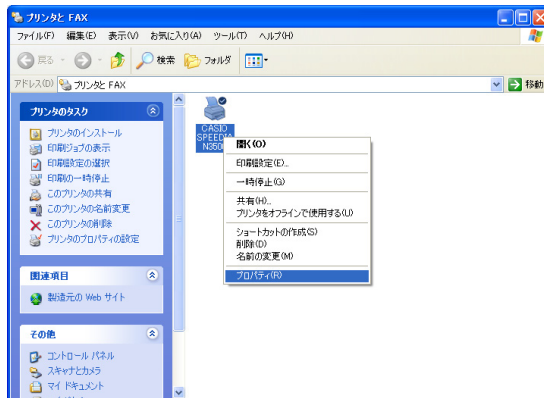
プリンタドライバのすべての機能を表示した画面です。簡単UIで設定できないプリンタドライバの詳細な機能を使用する場合や、N5／N5000／N6000などの従来版プリンタドライバと同様の設定画面で操作する場合は、標準UIをご使用ください。

● 簡単UI

通常よく使用する設定だけを表示した画面です。印刷書式やアイコンをクリックするだけで簡単に設定できます。

※「印刷書式」…… 一般によく使われる印刷目的に合わせて、設定をあらかじめ登録してあります。任意の設定を登録することもできます。登録は標準UIで登録します。標準UIで登録した書式は、簡単UIで利用することができます。

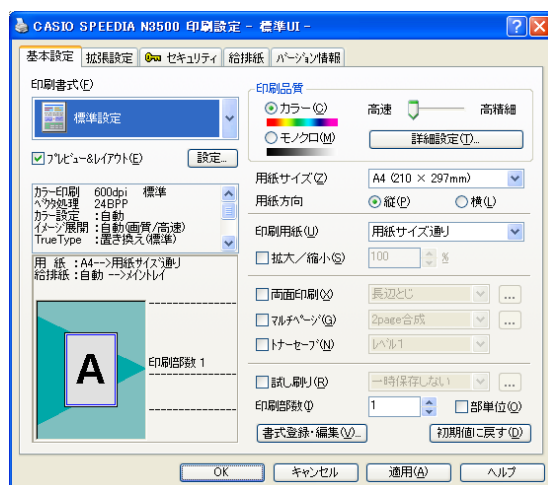
印刷設定画面のUIは、「環境設定」－「動作設定」で切り替えます。

※「環境設定」タブは、アプリケーションから開いたプリンタ設定では表示できません。また、Windows 2000/XP/Server 2003の「印刷設定」でも表示できません。
プリンタフォルダのメニューから「プロパティ」をクリックして「環境設定」タブを開いてください。

※ 印刷設定画面のUIを切り替えても、設定内容はそのまま引き継がれます。「簡単UI」で設定できない機能は、「標準UI」で設定変更した後に「簡単UI」に切り替えれば、変更した設定をそのまま使用することができます。
（ただし、「簡単UI」に同一設定項目がある場合は、「標準UI」だけにある項目を変更しても設定は有効にならず、最適な設定に置き換わります。）

4.プリンタドライバの設定（標準UI）

「標準UI」選択時の設定項目について説明します。詳細はプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

※「ヘルプ」……………… プリンタドライバの印刷設定画面の右下の「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示します。
また、知りたい設定項目にマウスカーソルを合わせて右クリックすると、その設定に関する説明を表示します。

4.1 基本設定

1. 印刷書式

一般によく使われる印刷目的や内容に合わせて設定をあらかじめ登録してあります。目的に合わせて選択してください。

※書式を選択すると、背景がカラーで塗りつぶされた通常の選択状態となりますが、書式に含まれる設定を変更すると選択状態がモノクロ塗りつぶしや枠線のみの表示に変わり、設定の変更がわかるようになっています。

※「書式登録・編集」ボタンで、任意の設定をユーザ書式として登録することもできます。

2. 印刷品質 ー カラー／モノクロ

通常は「カラー」が設定されています。カラー原稿をモノクロで印刷する場合は「モノクロ」を選択します。

3. 印刷品質 ー スライドバー（高速／高精細）

標準書式にはそれぞれ「高速」と「高精細」の２つの設定があります。用途に応じてスライドバーの設定を変更します。

4. 印刷品質 ー 詳細設定

印刷品質の詳細を任意に設定することができます。詳細は ☞ **4.5 基本設定ー詳細設定ー印刷モード（17 ページ）**をご覧ください。

5. プレビュー＆レイアウト

印刷前に、結果を確認する場合に設定します。

※ プレビュー画面から「編集」機能を使用して、印刷データを再構成（ページの入れ替え、追加など）して印刷することができます。詳細は **6.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト: REPORT HOLDER印刷）（39 ページ）**をご覧ください。

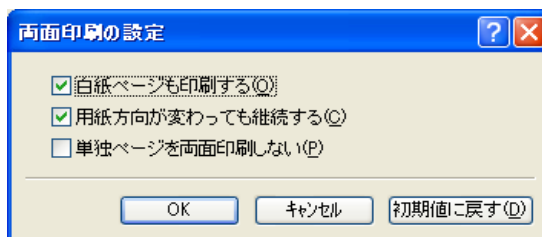
6. 用紙サイズ／用紙方向／印刷用紙

用紙サイズと用紙方向は、アプリケーション側で指定した用紙サイズと方向で自動的に設定されますので設定の必要はありません。ただし、設定した印刷用紙に合わせて拡大／縮小印刷する場合は、用紙サイズ、用紙方向を合わせて設定する必要があります。

7. 拡大／縮小

任意の大きさに拡大／縮小して印刷します。印刷用紙を変更すると用紙サイズに対する拡大／縮小率が計算されてここにセットされます。

8. 両面印刷

両面印刷を行う場合に設定します。とじる位置をリストから選択します。
リストの右側のボタンをクリックすると両面印刷の設定ダイアログボックスが開きます。

9. マルチページ

数ページ分を1枚の用紙に印刷（合成印刷）したり、1ページを大きく拡大して数枚の用紙に分けて印刷（分割印刷）する機能などを設定します。
リストの右側のボタンをクリックするとマルチページの設定ダイアログボックスが開きます。リストに表示されている以外の様々なレイアウトが設定できます。

10. トナーセーブ

印刷濃度を全体に下げ、トナーの消費を抑えて印刷します。

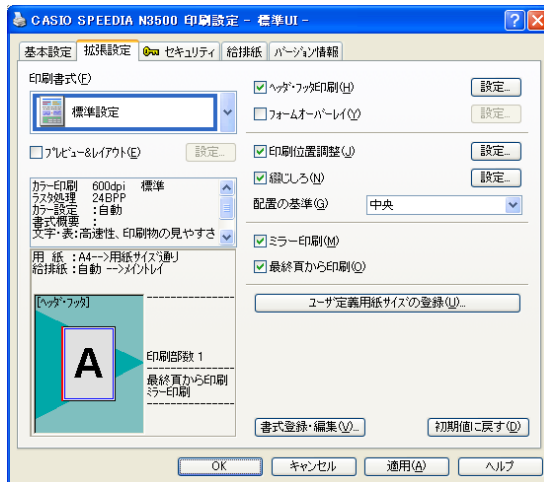
11. 試し刷り

試し刷り印刷を行う場合に設定します。詳細は ☞ **6.2 複数部数の印刷時、まず1部印刷してから残りを印刷する（試し刷り印刷）（31 ページ）**をご覧ください。

12. 印刷部数／部単位

印刷する部数を設定します。部単位でソートして印刷する場合は「部単位」を選択します。

※ プリンタにハードディスクを装着すると高速な部単位印刷が可能です。詳細は ☞ **6.1 複数部数の印刷を部単位ごとにソートして印刷する（部単位印刷）（30 ページ）**をご覧ください。

4.2 拡張設定

1. ヘッダ・フッタ印刷

ヘッダ・フッタ印刷を設定します。ユーザ名やドキュメント名、日付と時刻、任意の文字列をヘッダ・フッタとして印刷することができます。

2. フォームオーバーレイ

フォームオーバーレイ印刷を行う場合に設定します。印刷データをフォームファイルとして保存することもできます。

3. 印刷位置調整

印刷位置の微調整が0.1mm単位で設定できます。

4. 綴じしろ

綴じしろとして用紙の片側に余白を取って印刷する場合に設定します。「綴じしろの設定」ダイアログボックスで、綴じしろの位置や量を設定できます。また、綴じしろの分だけ自動的に縮小する機能も選択できます。

5. 配置の基準

拡大／縮小や、マルチページ「合成」の印刷で、印刷する用紙の大きさと印刷データの大きさが異なる場合に基準となる位置を設定します。

6. ミラー印刷

全体を用紙の裏から見たように反転して印刷します。

7. 最終頁から印刷

通常とは逆の最終ページから印刷します。

8. ユーザ定義用紙サイズの登録

任意の大きさの用紙サイズを登録します。

4.3 セキュリティ

1. スタンプ印刷

スタンプ印刷を行う場合に設定します。任意の文字列やビットマップを、スタンプのように印刷データに重ねて印刷することができます。

2. ID印刷

ID印刷を行う場合に設定します。各ページ上下左右の余白部分にID（ログオンユーザ名、コンピュータ名、印刷時刻、プリンタシリアル No.）を印字することができます。

3. コピーガード印刷

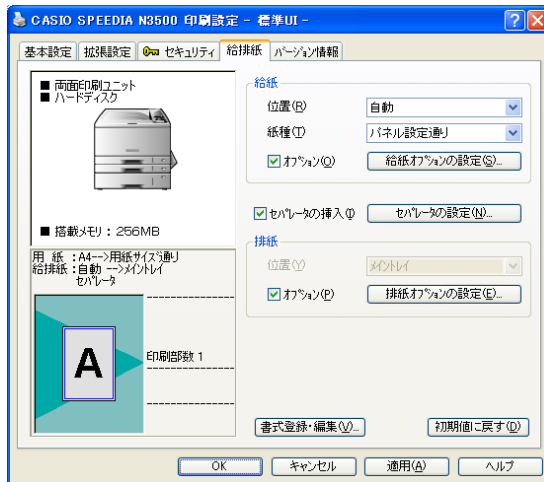
コピーガード印刷時に設定します。コピーガード印刷を選択して印刷すると、印刷物をコピーしたときに文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷されます。特殊な用紙を用意することなく、原紙に複写牽制措置を付加することができます。
別売の COPY GUARD TOOL（Ver.2 以降）を導入すると、牽制文字やパターンの編集、印刷条件の指定などの機能が追加され、さらに多彩な複写牽制措置が可能になります。

4. 親展印刷

親展印刷を行う場合に設定します。詳細は ☞ **6.3 他の人に見られないように印刷する（親展印刷）（33 ページ）**をご覧ください。
※ N3000には、認証方式を選択するリストボックスはありません。

● セキュリティ情報ガイダンス

プリンタ側で設定された各種の印刷権限や、プリンタドライバの初期値設定に影響するプリンタ操作パネルの設定情報を表示します。

4.4 給排紙

1. 給紙 － 位置

給紙する位置を設定します。通常は「自動」のままで使用します。

2. 給紙 － 紙種

印刷する紙の種類を設定します。OHP シートや封筒、はがきおよび厚紙など、普通紙以外の用紙に印刷する場合は設定が必要です。

3. 給紙 － オプション

通常は設定する必要はありません。ページごとに給紙位置を変更する設定のほか、給紙関連のオプション設定があります。

4. セパレータの挿入

印刷の切れ目などの目印にセパレータを挿入することができます。特定の給紙装置に色紙を用意して、印刷の切れ目にセパレータ用紙を挿入すれば仕分けが容易になります。また、OHPシートの貼り付き防止に、シートの間に普通紙をはさみ込むことができます。

5. 排紙 － 位置

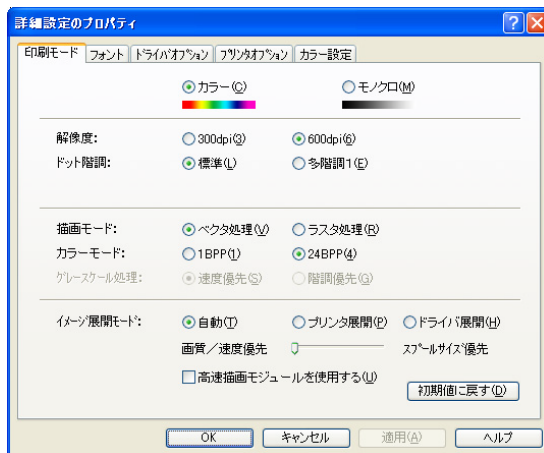
印刷した用紙を排出する位置を設定します。（本プリンタはプリンタの排紙はメイントレイのみです。設定変更はできません。）

6. 排紙 － オプション

通常は設定する必要はありません。排紙関連のオプション設定があります。
用紙に対して印刷画像を180゜回転して印刷する「リバース印字」の設定ができます。

● プリンタ装置構成

このタブでは、プリンタの装置構成が確認できます。装置構成の変更について詳細は ☞ **3.1 環境設定（7 ページ）** をご覧ください。

4.5 基本設定ー詳細設定ー印刷モード

1. カラー／モノクロ

カラー原稿をモノクロで印刷する場合は「モノクロ」を選択します。

2. 解像度

プリンタ解像度を設定します。通常600dpiから変更する必要はありません。グラデーションを多用するなど高精細なグラフィックを含むデータの場合、印刷に時間がかかることがありますので、解像度より印刷速度を重視する場合は300dpiに設定して印刷します。

※ プリンタ解像度は600dpi固定です。この設定により変更されるのはデータ側の解像度のみです。

3. ドット階調

ドット階調を設定します。「標準」よりも「多階調1」の方がよりきれいに印刷できますが、より多くのメモリと印刷時間が必要になります。

※ 300dpi時は設定できません。

4. 描画モード

ドライバの描画方法を設定します。一般にラスタ処理よりベクタ処理の方が印刷速度は速くなります。ラスタ処理では、印刷データをコンピュータ側でイメージに展開してプリンタに送るため、スプールデータサイズは大きくなりますが画面に忠実な印刷ができます。

5. カラーモード

通常のカラー印刷時は、「24BPP（Bit/Pixel）」のまま変更する必要はありません。特定のアプリケーションで色が正しく印刷されないときに、この設定を変更すると正しい色で印刷できる場合があります。

6. グレースケール処理

モノクロ印刷時のグレースケール処理方法を設定します。「速度優先」に設定すると正しい階調のグラデーションが得られない場合がありますが、印刷速度は速くなります。

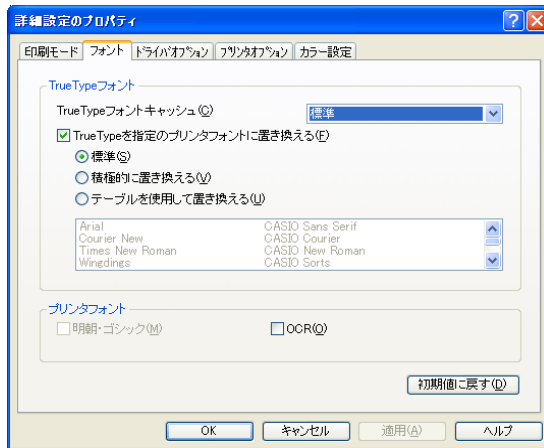
7. イメージ展開モード

画像イメージを、プリンタで展開するかドライバで展開するかを設定します。通常は「自動」のまま変更する必要はありません。

8. 高速描画モジュールを使用する

常に高速描画モジュールを使用した印刷処理を行う場合に設定します。
通常は最適な印刷処理を行うよう自動判断されますので、チェックする必要はありません。

※ 高速描画モジュール
通常プリンタ側で行われる描画処理をドライバ側で行うためのライブラリモジュールです。高性能なコンピュータで利用することにより高速印刷を実現します。
ただしスプールデータサイズは大きくなり、印刷時間はコンピュータの処理能力に大きく依存します。

4.6 基本設定ー詳細設定ーフォント

1. TrueTypeフォント ー TrueTypeフォントキャッシュ

一度使用したTrueTypeフォントを、プリンタ内のメモリに登録して再利用することで、同じフォントを複数回使用する際の印刷速度を向上させ、スプールデータサイズを削減させます。
通常は「標準」のまま変更する必要はありません。

2. TrueTypeフォント ー TrueTypeを指定のプリンタフォントに置き換える

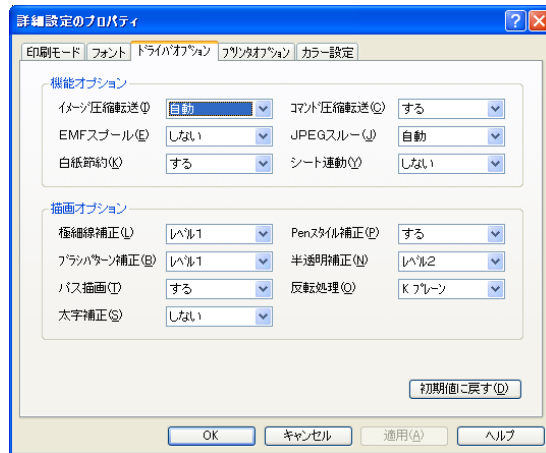
TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷することで、スプールデータサイズの削減を実現します。
「標準」では、「MS明朝・ゴシック」「MSP明朝・ゴシック」（JIS2004対応フォントの場合を除く）および5種類の欧文フォントをプリンタフォントに置き換えます。

3. プリンタフォント ー 明朝・ゴシック

ラスタ処理時、プリンタフォントを使用する場合にチェックします。通常は、使用しない方が品質的にも速度的にも良い結果が得られます。

4. プリンタフォント ー OCR

プリンタに内蔵しているOCRフォントを使用する場合にチェックします。

4.7 基本設定ー詳細設定ードライバオプション

1. 機能オプション － イメージ圧縮転送／コマンド圧縮転送／EMFスプール／JPEGスルー
通常は変更する必要はありません。

2. 機能オプション － 白紙節約
印刷の結果、用紙全面に何も印刷されていない用紙は排紙をしません。

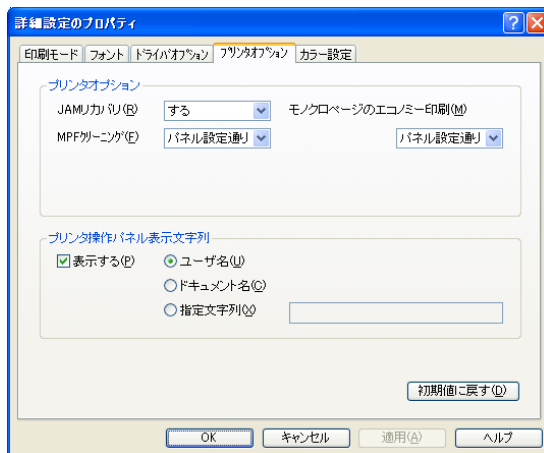
3. 機能オプション － シート連動
シートごとに印刷設定が可能なアプリケーション（表計算など）で複数のシートを印刷する場合、最初に印刷するシートの印刷設定を次に印刷するシートの印刷設定に連動させるかを設定します。
※ 全ての設定がシート連動の対象となるわけではありません。

4. 描画オプション － 極細線補正／Penスタイル補正／ブラシパターン補正／半透明補正
細すぎる線（600dpiの1dot線）や細かすぎるパターンなどの拡大補正をします。
通常は変更する必要はありません。

5. 描画オプション － パス描画
パス描画機能を使った図形が正しく描画されない場合、設定を変更することで正しい描画結果を得られる場合があります。
通常は変更する必要はありません。

6. 描画オプション － 反転処理
カラーの図形などが黒で塗りつぶされてしまうときに、「CMYプレーン」に変更することで正しく印刷される場合があります。
通常は変更する必要はありません。

7. 機能オプション － 太字補正
TrueTypeフォントの強調文字により太くする補正（+1dot）をします。

4.8 基本設定ー詳細設定ープリンタオプション

1. プリンタオプション － JAMリカバリ

紙詰まりした用紙をもう一度印刷「する」か「しない」かを設定できます。

2. プリンタオプション － モノクロページのエコノミー印刷

カラー印刷時、印刷データにカラーデータが存在しない場合に自動的にモノクロモードに切り替えて、ドラム・トナーの消耗を減らすことができます。

3. MPFクリーニング

給紙位置「MPF」からの印刷時、印刷用紙に汚れが発生する場合は本設定を「する」に設定して印刷すると改善される場合があります。通常は、「パネル設定通り」のまま変更する必要はありません。

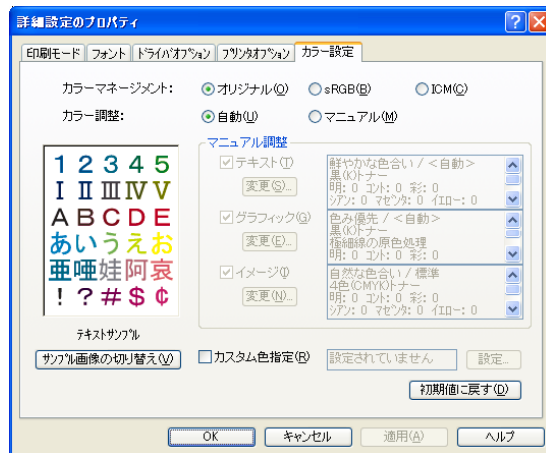
※ 指定サイズより小さいサイズの用紙を使用すると、サイズ領域外にトナーが付着して汚れが発生する場合があります。このようなときは「する」に設定して転写ロールをクリーニングしてください。

※「する」に設定すると、複数ページの印刷時に印刷速度が遅くなります。

※ MPF給紙装置が未装着時は設定できません。

4. プリンタ操作パネル表示文字列

印刷時、プリンタの表示パネルに現在印刷中のドキュメント名やユーザ名、任意の文字列を表示することができます。

4.9 基本設定ー詳細設定ーカラー設定

1. カラーマネージメント

カラーマッチングを設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

※ ICM（Image Color Matching）によるカラーマネージメントの設定には、別途ICCプロファイルのインストールが必要です。インストール方法など、詳細は CD-ROM の￥drivers￥icm￥readme.txt をご覧ください。

2. カラー調整

「自動」に設定すると、オブジェクトごとに最適なカラー調整で印刷します。「マニュアル」に設定すると、以下「3. マニュアル調整」が有効となり任意のカラー調整が可能になります。

3. マニュアル調整

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとに、マニュアル調整することができます。チェックボックスにチェックがないオブジェクトは「自動」と同じカラー調整となります。

4. マニュアル調整 ー 変更

「変更」ボタンをクリックすると、カラーマニュアル調整のダイアログボックスが表示されます。「変更」ボタンをクリックしたオブジェクトのタブが前面に表示されますので、任意のカラー調整を行ってください。その他のオブジェクトもタブを切り替えてカラー調整します。

5. サンプル画像の切り替え

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとの、カラー調整状態を確認するサンプル画像を切り替えて表示します。

6. カスタム色指定

アプリケーションで設定された特定の色を、指定した別の色に置き換えることができます。

4.10 基本設定－詳細設定－カラー設定－カラーマニュアル調整

*1.*カラーマッチング

色の釣り合い（色合い）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

*2.*ディザリング

ディザリング（階調の表現方法）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

*3.*ブラック/グレーの表現方法

ブラック（R=G=B=0）とグレー（R=G=B=＊）の表現方法を設定します。
ブラックやグレーを黒（K）トナーのみで表現するか、4色（CMYK）トナーで表現するか、印刷の目的（画像）に応じて選択します。

*4.*小文字の原色処理（テキストのみ）

12ポイント以下の文字を、赤、緑、青、黒、シアン、マゼンタ、黄、白の8色のいずれかの色で印刷します。

*5.*極細線の原色処理（グラフィックのみ）

600dpi の1dot の線を、赤、緑、青、黒、シアン、マゼンタ、黄、白の8色のいずれかの色で印刷します。

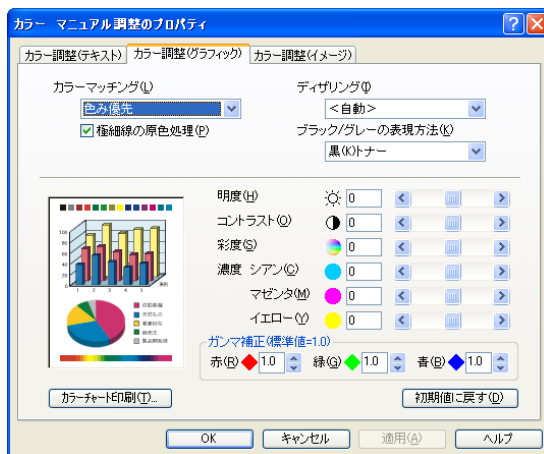
*6.*明度／コントラスト／彩度

明るさ／コントラスト／彩やかさを設定します。

*7.*濃度　シアン／マゼンタ／イエロー

トナーの濃度を設定します。各色ごとに独立して設定することができます。モノクロ印刷時は、1色のみの設定になります。

*8.*ガンマ補正

R（赤）G（緑）B（青）の発色の強さ（明るさ）を設定します。
※モノクロ時は、赤、緑、青が、同じ値になります。

9. カラーチャート印刷

カラー調整の内容を確認するためのカラーチャートを印刷します。

10. 高速処理（イメージのみ）

カラーマッチングの処理を簡易的に行うことにより、印刷速度を向上させます。

※ カラーマッチング「なし」時は設定できません。

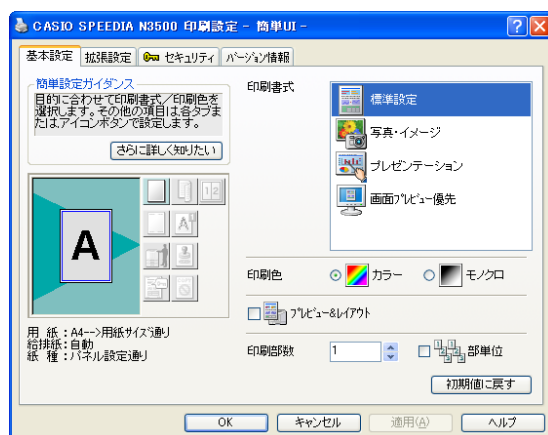
11. 画質補正処理（イメージのみ）

画質補正処理を行います。
シャープネスと画像拡大時のエッジをスムーズにする解像度補正処理の設定ができます。

5.プリンタドライバの設定（簡単UI）

「簡単UI」選択時の設定項目について説明します。詳細はプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

※「ヘルプ」……………… プリンタドライバの印刷設定画面の右下の「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示します。
また、知りたい設定項目にマウスカーソルを合わせて右クリックすると、その設定に関する説明を表示します。

5.1 基本設定

1. 印刷書式

印刷目的に合わせて選択します。

※「印刷書式」……一般によく使われる印刷目的に合わせた設定があらかじめ登録してあります。
任意の設定を登録することもできます。登録は標準UIで登録します。標準UIで登録した書式は、簡単UIで使用することができます。

2. 印刷色

通常は「カラー」が設定されています。カラー原稿をモノクロで印刷する場合は「モノクロ」を選択します。

3. プレビュー＆レイアウト

印刷前に、印刷結果を確認する場合に設定します。

※プレビュー画面から「編集」機能を使用して、印刷データを再構成（ページの入れ替え、追加など）して印刷することができます。詳細は ☞ **6.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト: REPORT HOLDER印刷）（39 ページ）**をご覧ください。

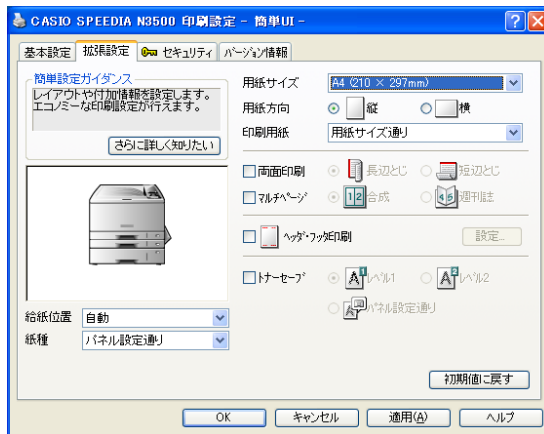
4. 印刷部数

印刷する部数を設定します。部単位でソートして印刷する場合は「部単位」をチェックします。

※プリンタにハードディスクを装着すると高速な部単位印刷が可能になります。詳細は ☞ **6.1 複数部数の印刷を部単位ごとにソートして印刷する（部単位印刷）（30 ページ）**をご覧ください。

● **簡単設定ガイダンス**

この設定画面で何ができるか／何を設定するのかを簡単に説明します。
「さらに詳しく知りたい」ボタンをクリックすると、詳細な説明がご覧になれます。

5.2 拡張設定

1. 用紙サイズ

用紙サイズを設定します。
設定するサイズは原稿のサイズ（アプリケーション側で定義されたサイズ）です。

※ 通常は、アプリケーション側で定義された用紙サイズで自動的に設定されますので設定の必要はありません。

2. 用紙方向

用紙の方向（向き）を設定します。
設定するのは原稿の用紙方向（アプリケーション側で定義された用紙方向）です。

※ 通常は、アプリケーション側で定義された用紙方向で自動的に設定されますので設定の必要はありません。

3. 印刷用紙

印刷に使用する用紙のサイズを設定します。
通常は「用紙サイズ通り」に設定しておけば、アプリケーション側で指定したサイズの用紙に等倍で印刷します。任意の用紙サイズに印刷する場合は、印刷したいサイズの用紙を設定すると、用紙に合わせて自動的に拡大／縮小印刷します。

※ 用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する場合は、用紙サイズ、用紙方向も併せて設定する必要があります。

4. 両面印刷

両面印刷時に設定します。併せてとじる位置を選択します。

「長辺とじ」………… 用紙の長辺をとじたとき、裏表とも正しく見られるように印刷します。

「短辺とじ」………… 用紙の短辺をとじたとき、裏表とも正しく見られるように印刷します。

5. マルチページ

2ページ分を1枚の用紙に印刷（合成印刷：2page合成／2アップ印刷）したり、両面印刷したものをまとめて中央で折って、週刊誌のようにとじることができるレイアウト（BOOK合成：週刊誌綴じ／小冊子印刷）で印刷する機能を設定します。

6. ヘッダ・フッタ印刷

ヘッダ・フッタ印刷を設定します。ユーザ名やドキュメント名、日付と時刻、任意の文字列をヘッダ・フッタとして印刷することができます。

7. トナーセーブ

印刷濃度を全体に下げ、トナーの消費を抑えて印刷します。

8. 給紙位置

給紙する位置（給紙装置）を設定します。通常は「自動」のまま使用します。

9. 紙種

印刷する紙の種類を設定します。OHPシートや封筒、はがきおよび厚紙など、普通紙以外の用紙に印刷する場合は必ず設定が必要です。

また、厚めの普通紙（71g/m^2以上）を使用する場合は、用紙の厚さに合わせて「カラー上質紙（71～82g/m^2）」または「両面用上質紙（83～100g/m^2）」を設定してください。

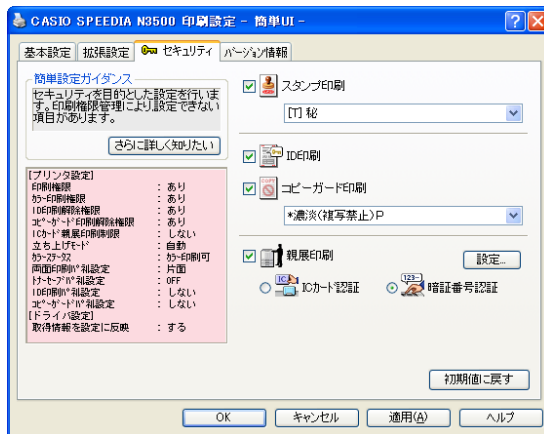
※ 給紙装置ごとに使用する紙種が決まっている場合、プリンタの操作パネルで紙種を設定しておけば、プリンタドライバの設定は「パネル設定通り」のまま変更する必要はありません。

※ 印刷画像を指でこすると剥がれるときは、紙種の設定を一段階厚い設定にすると改善される場合があります。

● 簡単設定ガイダンス

この設定画面で何ができるか／何を設定するのかを簡単に説明します。

「さらに詳しく知りたい」ボタンをクリックすると、詳細な説明がご覧になれます。

5.3 セキュリティ

1. スタンプ印刷

スタンプ印刷を行う場合に設定します。任意の文字列やビットマップをスタンプの形式で印刷データに重ねて印刷することができます。

2. ID印刷

ID印刷を行う場合に設定します。各ページ上下左右の余白部分にID（ログオンユーザ名、コンピュータ名、印刷時刻、プリンタシリアル No.）を印字することができます。

3. コピーガード印刷

コピーガード印刷時に設定します。コピーガード印刷を選択して印刷すると、印刷物をコピーしたときに文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷されます。特殊な用紙を用意することなく、原紙に複写牽制措置を付加することができます。
別売の COPY GUARD TOOL（Ver.2 以降）を導入すると、牽制文字やパターンの編集、印刷条件の指定などの機能が追加され、さらに多彩な複写牽制措置が可能になります。

4. 親展印刷

親展印刷を行う場合に設定します。詳細は ☞ **6.3 他の人に見られないように印刷する（親展印刷）（33 ページ）**をご覧ください。
※ N3000には、認証方式を選択するラジオボタンはありません。

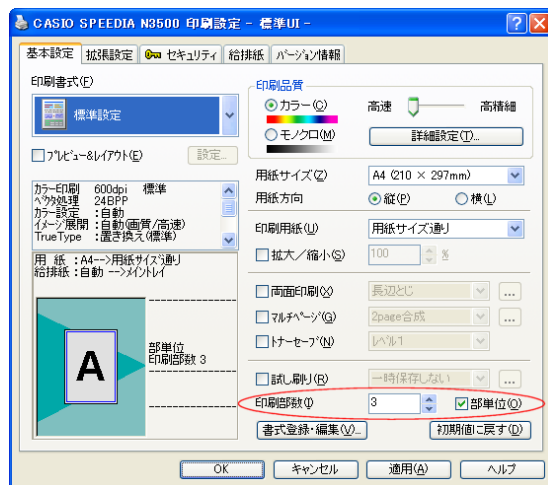
● セキュリティ情報ガイダンス

プリンタ側で設定された各種の印刷権限や、プリンタドライバの初期値設定に影響するプリンタ表示パネルの設定情報を表示します。

6.こんなことができます <印刷目的別ドライバ設定方法>

プリンタドライバが持つ各機能の利用方法の一部をご案内します。プリンタ活用ガイドにもプリンタの様々な機能を活用いただくための手順が記載されていますので併せてご覧ください。

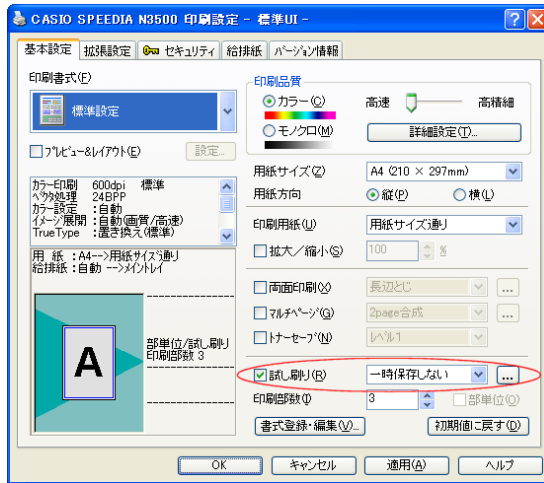
6.1 複数部数の印刷を部単位ごとにソートして印刷する（部単位印刷）

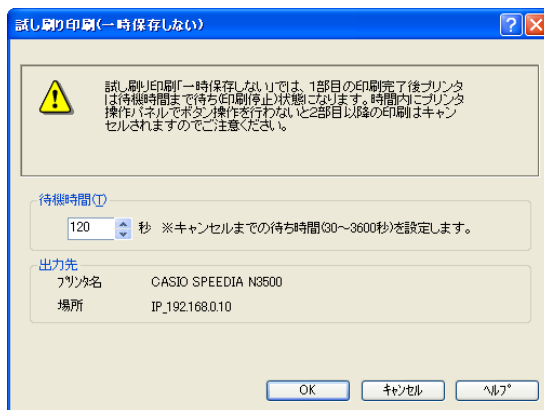
注意

● 印刷部数はアプリケーション側で設定してください。
ただし、アプリケーション側に設定がない場合はプリンタドライバ側で設定します。

● 部単位ごとにソートして複数部数の印刷をする場合は、「基本設定」タブの「部単位」をチェックして印刷します。

● プリンタにハードディスクを装着すると、コンピュータからのデータ出力時間が短縮されると共により高速な印刷ができます。（モノクロ設定時は搭載メモリを使用して同様の処理を行います。）

※ 部単位印刷は、プリンタフォルダから開く「環境設定」－「動作設定」の設定内容で動作が異なりますので必要に応じて設定します。設定を変更すると、アプリケーション側の設定方法も変わりますので注意が必要です。
(詳細はプリンタドライバのヘルプをご覧ください。)

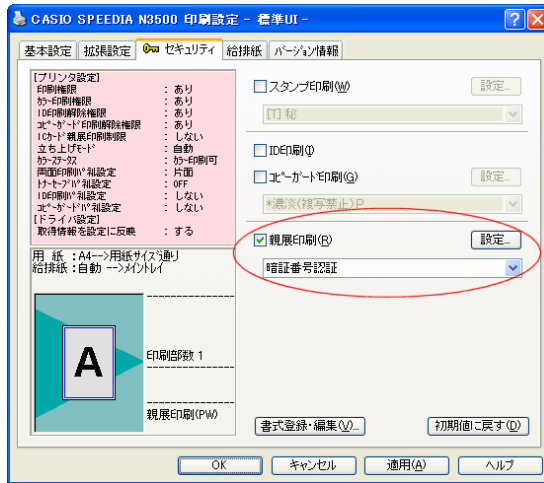
6.2 複数部数の印刷時、まず1部印刷してから残りを印刷する（試し刷り印刷）

注意
- **試し刷り印刷には、オプションのハードディスクが必要です。**
  ※ モノクロ設定時の「一時保存しない」は除きます。
- **印刷部数はアプリケーション側で設定してください。**
- **プリンタが指示待ち（印刷停止）状態のままだと、他の印刷はできません。**
  1部目の印刷後、必ずプリンタ操作パネルのボタンで残りの印刷処理を選択してください。

- **試し刷り印刷をする場合は、「基本設定」タブの「試し刷り」を設定して印刷します。**

- **印刷開始直後、左図のダイアログボックスが表示されます。内容を確認し「OK」ボタンをクリックして印刷を続行します。「キャンセル」をクリックすると印刷を中止します。**
  ※ このダイアログボックスの設定をあらかじめ「試し刷り印刷の設定」ダイアログボックスで設定することもできます。

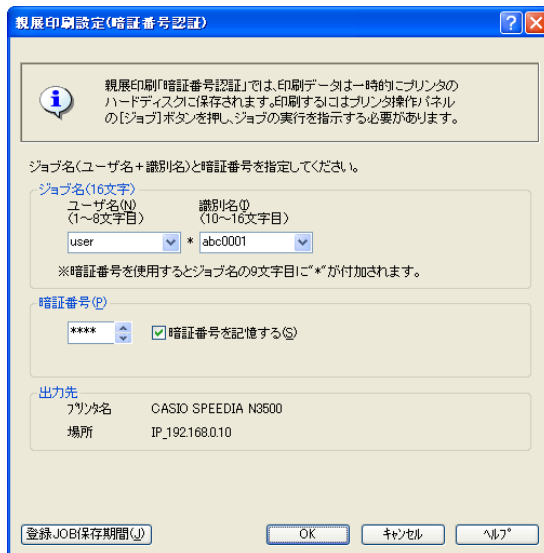
- **試し刷りでは、印刷データを「一時保存する」「一時保存しない」を選択できます。**
  「一時保存する」場合、データは一時的にプリンタのハードディスクに保存されます。
  「一時保存しない」場合、データは1部目の印刷完了後の「待機時間」内にプリンタ操作パネルのボタンを操作しないと2部目以降はキャンセルされます。
  決定 **ボタン　　：2部目以降を印刷します。**
  ジョブ取消 **ボタン：2部目以降をキャンセルします。**

試し刷り印刷中は、表示パネルに下記メッセージが表示されます。

パネル表示	内容・操作方法など
ブ゛タンイ　XXXXXXXXXXX ジ゛ド゛ウ　A４　　イチブ゛メ	１部目印刷中 ※ XXXX. .　XX はユーザ名などが表示されます。表示内容は 4. プリンタ操作パネル表示文字列（21 ページ）で変更できます。
タメシスリ　XXXXXXXXXXX トリケシ　　／　　インサツ	残りの部数を印刷するかの確認メッセージです。 ※プリンタは指示待ち（印刷停止）状態です。他の印刷はできません。 １部目の内容を確認して残りの部数を印刷する場合：プリンタ操作パネルの決定 ボタンを押します。 残りの部数を印刷しない場合：プリンタ操作パネルのジョブ取消 ボタンを押すか、プリンタドライバで設定した「待機時間」まで決定 ボタンを押さないままにすると、「待機時間」経過後にデータを削除します。
ブ゛タンイ　XXXXXXXXXXX ジ゛ド゛ウ　A４　　９９９９	残り部数印刷中 ※ XXXX. .　XX はユーザ名などが表示されます。表示内容は 4. プリンタ操作パネル表示文字列（21 ページ）で変更できます。

6.3 他の人に見られないように印刷する（親展印刷）

注意

- 親展印刷では、印刷データを一時的にプリンタのハードディスクに保存します。
- 親展印刷には、オプションのハードディスクが必要です。認証用のオプション機器を装着すると、暗証番号認証以外の認証方法を使用することができます。
- ハードディスクに保存されたデータを印刷するには、プリンタ上での認証作業(暗証番号認証ではプリンタ操作パネルの暗証番号入力)が必要です。

- 親展印刷をする場合は、「セキュリティ」タブの「親展印刷」を設定して印刷します。

- 暗証番号認証による親展印刷を開始すると、左図のダイアログボックスが表示されます。ユーザ名と識別名（プリンタの操作パネルで選択する印刷ジョブ名）を入力します。暗証番号を入力して「OK」ボタンをクリックして印刷を続行します。「キャンセル」をクリックすると印刷を中止します。

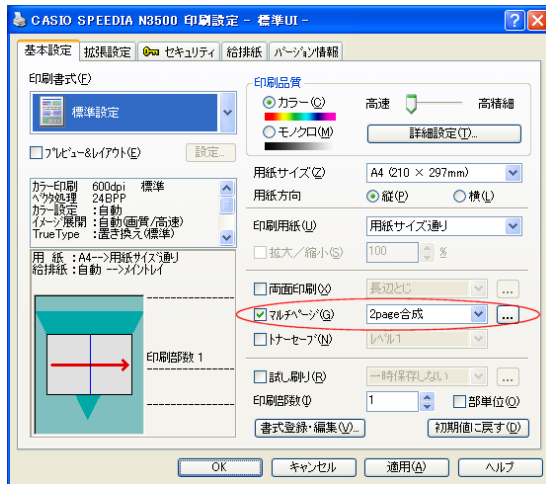
  ※ あらかじめ「親展印刷の設定」ダイアログボックスで、印刷時にこのダイアログボックスを表示させない設定にすることもできます。

ハードディスクに保存されている親展印刷のデータを印刷するには、プリンタの操作パネルで以下の操作を行います。

手順	パネル表示	内容・操作方法など
1	インサツデ゛キマス	オンライン中（データ待機中、または印刷中）にプリンタ操作パネルの ▶ ボタンを押して、ジョブ選択モードにします。
2	シ゛ョフ゛　センタク ▼▲シ゛ョフ゛コウホ　ヒョウシ゛	ジョブ選択モードです。プリンタ操作パネルの ▼ または ▲ ボタンを押して、印刷ジョブの候補を表示します。 （※ ◀ ボタンを押すと、ジョブ選択を中止しオンライン表示に戻ります。）
3	xxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxx	印刷ジョブ候補を表示します。 決定 ボタン....表示パネルの印刷ジョブを選択し、印刷を開始します。 印刷ジョブに「暗証番号」が設定されている場合は、暗証番号入力画面 ☞ 35ページの表示になります。前のジョブが印刷中であれば、終了後、選択したジョブの印刷を開始します。 ▼ ボタン..........次の候補を表示します。 ▲ ボタン..........前の候補を表示します。 ◀ ボタン..........ジョブ選択を中止しオンライン表示に戻ります。
4	インサツデ゛キマス シ゛ョフ゛デ゛ータファイルナシ	プリンタ操作パネルの ▶ ボタンを押したとき、ジョブ候補がないと左記表示を下段に約 1 秒間表示し、その後オンライン表示に戻ります。
5	インサツデ゛キマス タイキ　シ゛ョフ゛アリ	プリンタ操作パネルの ▶ ボタンを押したとき、すでにジョブ選択されて印刷を待っているジョブがあると左記メッセージを下段に約 1 秒間表示し、その後オンライン表示に戻ります。

親展印刷するジョブに暗証番号が設定されている場合、入力した暗証番号が一致すると印刷することができます。

手順	パネル表示	内容・操作方法など	
1	シンテン　ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　００００	最上位桁から１桁ずつ暗証番号を４桁入力します。 ※アンダーラインのあるフィールドに数値を入力することができます。 ▲ ボタン.........番号を1ずつカウントアップします。 ▼ ボタン.........番号を1ずつカウントダウンします。 ▶ ボタン.........入力するフィールドを右に1桁移動します。 （▼、▲ ボタンを操作している間は、アンダーラインは表示されません。▶ ボタンを押すと、1桁移動してアンダーラインが表示されます。最下位桁の入力中に ▶ ボタンを押すと、最上位桁の入力に戻ります。） 決定 ボタン....4桁の暗証番号の入力後、決定 ボタンを押します。入力された暗証番号と、あらかじめ親展印刷ジョブに設定されている暗証番号が一致しているかチェックを行います。 不一致の場合は再度暗証番号の入力となり、一致した場合は印刷を開始します。 ジョブ取消 ボタン.........暗証番号入力を中止し、下記「削除／中断」の選択表示になります。	設定中の表示パネル（2行目） ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　００００ ↓ … ▲ ボタン押下 ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　１０００ ↓ … ▲ ボタン押下 ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　２０００ ↓ … ▶ ボタン押下 ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　２０００ ↓ … ▲ ボタン押下 ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　２１００ ↓ … ▶ ボタン押下 ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　２１００ ↓ … ▶ ボタン押下 ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　２１００ ↓ … ▶ ボタン押下 ▼▲アンショウ　Ｎｏ．　２１００
2	シンテン　ｘｘｘｘｘｘｘｘｘｘ チュウダ゛ン　／　サクジ゛ョ	決定 ボタン...ジョブを削除します。ハードディスクのジョブも削除します。 ◀ ボタン.........親展印刷のジョブの印刷を中断します。ハードディスクのジョブは保存されたままですので、再度ジョブ選択して印刷することができます。	

6.4 複数のページを1枚の用紙にまとめて印刷する（マルチページ「合成」印刷）

マルチページ「合成」の機能を使って、複数ページのデータを1枚の用紙に印刷することができます。

● **マルチページ「合成」印刷をする場合は、「基本設定」タブの「マルチページ」をチェックして、マルチページの種類をリストから選択します。「自由合成」などの詳細は「...」ボタンをクリックして表示される「マルチページの設定」ダイアログボックスで設定します。**

※「マルチページの設定」ダイアログボックスは、リストで選択した種類の設定状態で開きます。

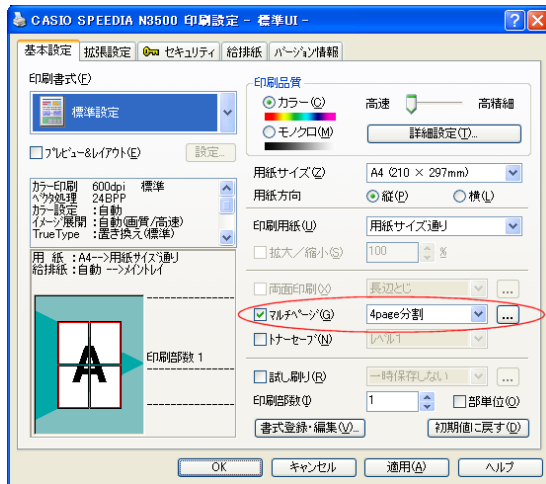
複数ページを1枚の用紙にまとめるには「合成」タブを選びます。

用紙イメージを確認しながら設定を変更できます。

一般によく使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選んで設定できます。

「自由指定」ボタンをクリックして、任意の設定で「合成」することもできます。

9ページを縮小して1枚の用紙に入れたり、印刷用紙に長尺紙を使って、A4の原稿を実寸のまま4ページ分並べて1枚の用紙に印刷することもできます。

6.5 模造紙大まで拡大して印刷する（マルチページ「分割」印刷）

マルチページ「分割」の機能を使って、1ページを模造紙大の大きさに拡大して印刷することができます。実際は模造紙大の用紙に印刷できませんので、複数の用紙に分けて印刷し貼り合わせてください。

● **マルチページ「分割」印刷をする場合は、「基本設定」の「マルチページ」をチェックして、マルチページの種類をリストから選択します。「自由分割」などの詳細は「...」ボタンをクリックして表示される「マルチページの設定」ダイアログボックスで設定します。**

※「マルチページの設定」ダイアログボックスは、リストで選択した種類の設定状態で開きます。

1ページを複数の用紙に分けて印刷するには「分割」タブを選びます。

用紙イメージを確認しながら設定を変更できます。

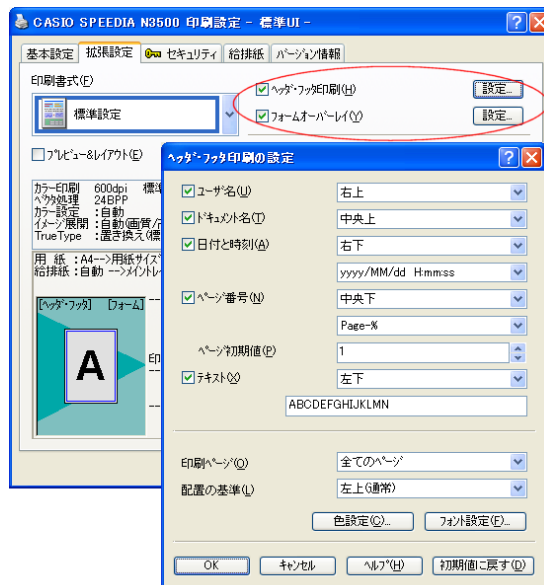
一般によく使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選んで設定できます。

「自由指定」ボタンをクリックして、任意の設定で「分割」することもできます。

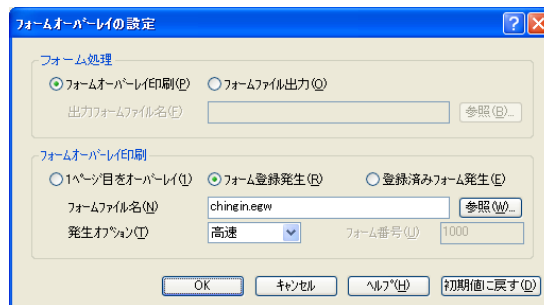
用紙9枚を使って9倍の大きさに拡大したり、印刷用紙に長尺紙を使って、模造紙大の大きさに印刷することもできます。

長尺紙（297mm×900mm）を横向きに置き、縦に4枚並べて貼り合わせることで、模造紙（790mm×1083mm）を超える大きさを実現します。

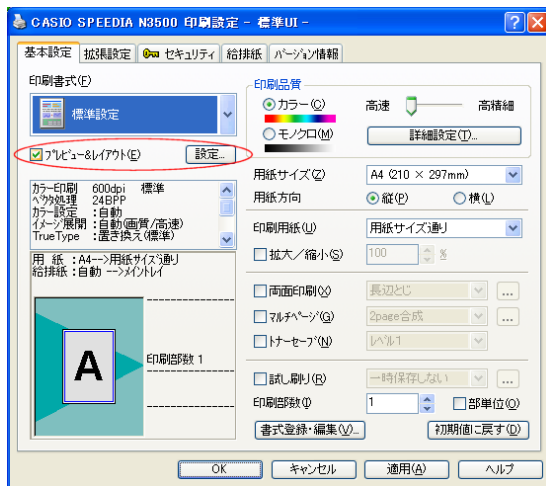
※ 一定の拡大率を超えるとWindows側の処理能力を超え、拡大部分の劣化が目立つようになります。

6.6 文書にデータを追加して印刷する

プリンタドライバの機能を使って、文書データにない情報を付加した印刷をすることができます。

● ヘッダ・フッタ印刷

「ユーザ名」や「ドキュメント名」などの情報を、ヘッダやフッタのように各ページに印刷することができます。

● フォームオーバーレイ

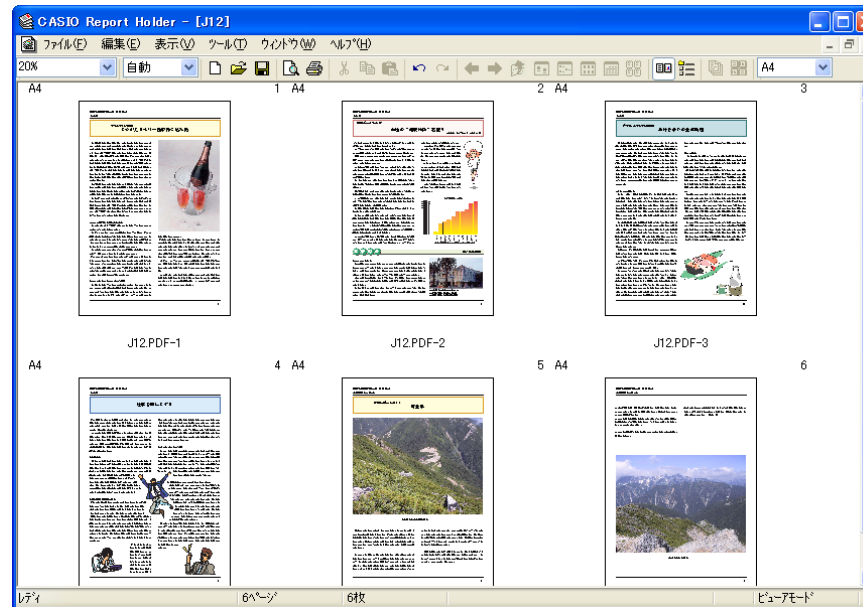
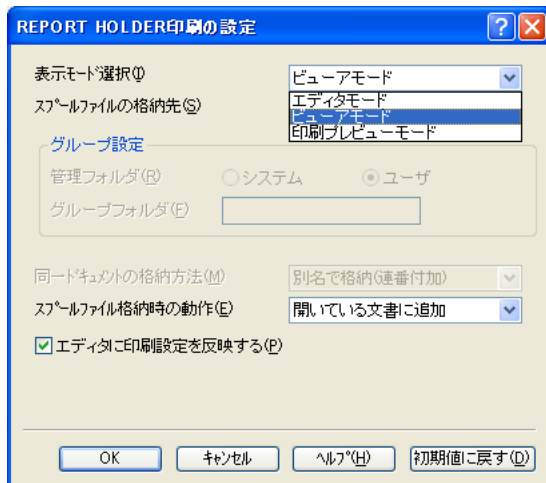
文書の1ページを、他の文書に重ね合わせて印刷したり、「FORMG Ⅲ Ver.2/Ver.3」で作成したフォームファイルをオーバーレイ印刷することができます。

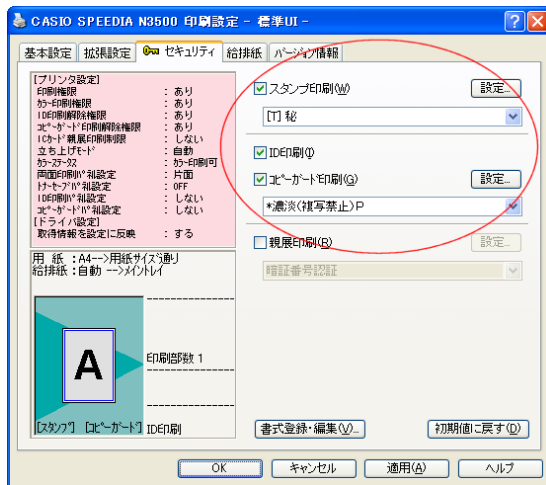
6.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト: REPORT HOLDER印刷）

「プレビュー＆レイアウト」をチェックして印刷（別称「REPORT HOLDER 印刷」）を行うと表示される「プレビュー画面」で「Report Holder 編集」ボタンをクリックすると、REPORT HOLDER エディタが起動し、印刷データを再構成（ページの入れ替え、追加など）して印刷することができます。

- **「プレビュー＆レイアウト」の「設定」ボタンをクリックすると開く「REPORT HOLDER印刷の設定」ダイアログボックスで、表示モード選択「ビューアーモード」または「エディタモード」を選択して、直接REPORT HOLDERエディタを起動することもできます。**

  ※ 初期値は「プレビュー画面」が開く「印刷プレビューモード」です。

- **REPORT HOLDERエディタでは、ページ順序の並べ替えや、ハードディスクに保存しておいた他の文書のページを取り込むことができます。また、こうして再構成した印刷データを保存することもできます。**

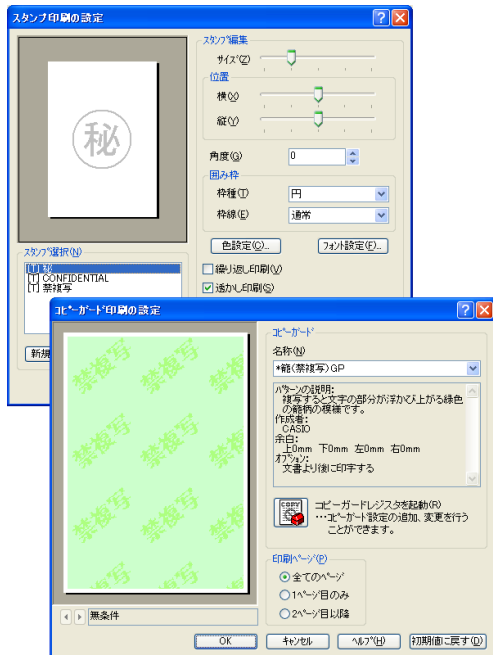
- **REPORT HOLDERエディタの詳細は、REPORT HOLDER for SPEEDIAソフトウェアマニュアルをご覧ください。**

REPORT HOLDERエディタ　編集画面

6.8 文書にセキュリティ情報を付加して印刷する

プリンタとプリンタドライバの機能を使って、セキュリティ情報を付加して印刷をすることができます。

● スタンプ印刷

文字や画像を、スタンプや透かしのように各ページに印刷することができます。

● ID印刷

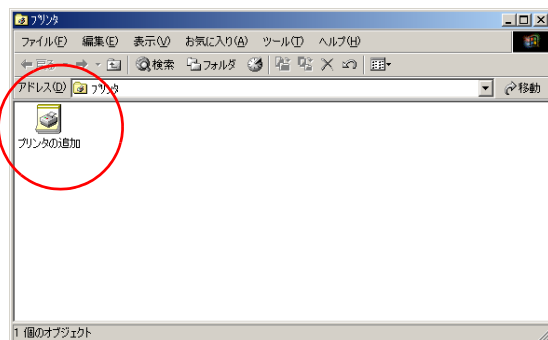
各ページの余白（印字禁止領域部分）に、ログオンユーザ名、印刷時刻、コンピュータ名、プリンタシリアル番号を印字します。印刷物が、何時、何処で、誰が印刷したかなどがわかるようになります。

● コピーガード印刷

機密文書や証明書などの印刷書類では、書類の偽造、不正利用、流出を抑止する手段として、書類のコピー、複製であることを意味する文字が浮かびあがる特殊な用紙を使用することがあります。
コピーガード印刷時に設定します。コピーガード印刷を選択して印刷すると、印刷物をコピーしたときに文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷されます。特殊な用紙を用意することなく、原紙に複写牽制措置を付加することができます。
別売の COPY GUARD TOOL（Ver.2 以降）を導入すると、牽制文字やパターンの編集、印刷条件の指定などの機能が追加され、さらに多彩な複写牽制措置が可能になります。

※ 各機能の設定に関する詳細は、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

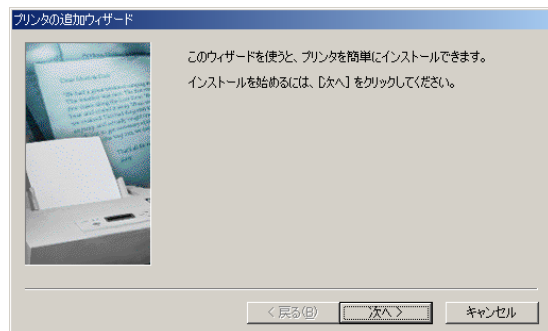
付録「プリンタの追加」によるインストール

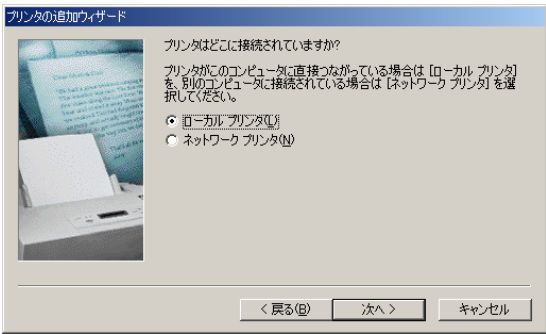
Windows 98/Meのプリンタの追加ウィザード

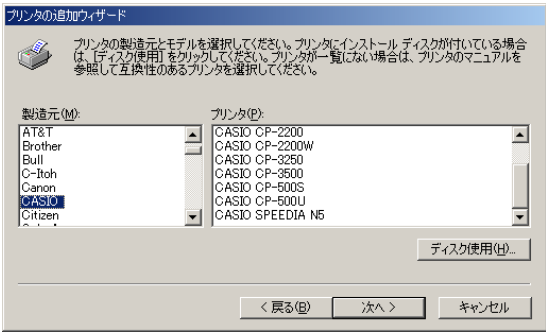
※ 画面はWindows Meの画面です。Windows 98では画面やメッセージが異なる部分がありますが、基本的な流れは同様です。

1. プリンタドライバのインストール

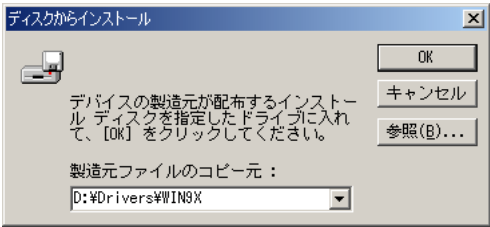
「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

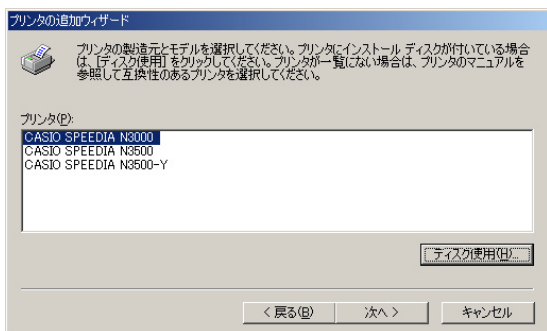
「プリンタ」フォルダの「プリンタの追加」をダブルクリックして、プリンタドライバをインストールするためのウィザードの画面を表示します。

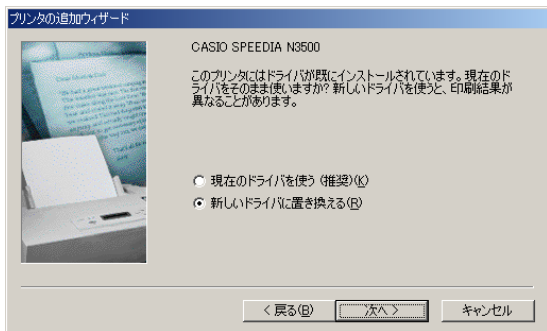
ウィザードの画面メッセージに従って、プリンタドライバをインストールします。

2. プリンタの追加ウィザードの開始

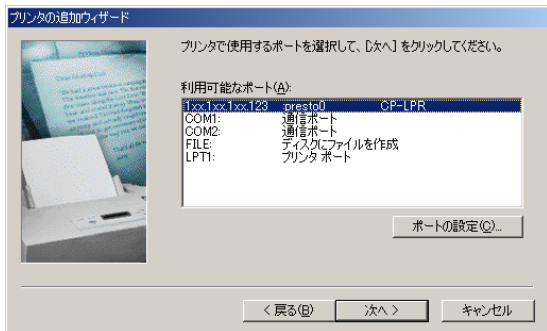
プリンタの追加ウィザードでは、画面のメッセージに従って必要な項目を各画面で設定し「次へ」ボタンをクリックして進行します。
プリンタの追加ウィザードが表示されたら「次へ」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

3. 接続先

プリンタの接続形態を選択します。
「ローカル プリンタ」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

4. プリンタの選択

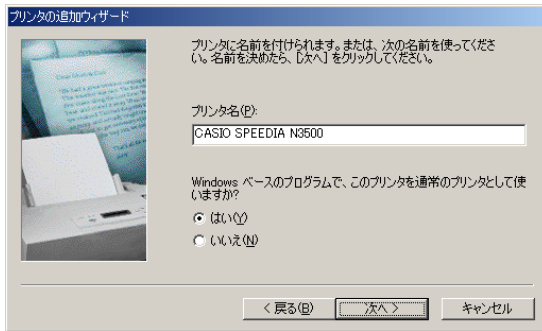
プリンタ機種を選択します。
「ディスク使用」ボタンをクリックして新しいプリンタをインストールします。

5. インストールディスクの指定

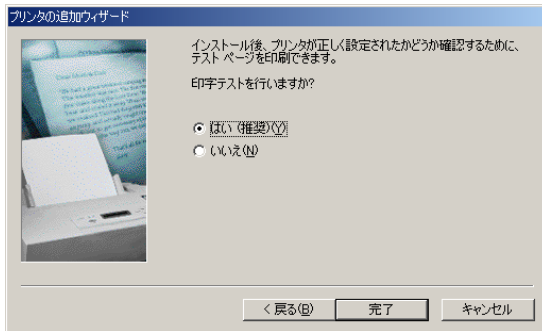
インストールするディスクを指定します。
CD-ROMからインストールするには、「D:¥Drivers¥WIN9X」(DドライブがCD-ROMドライブの場合)を指定します。
その他のディスクからインストールする場合は、各ディスクの適切なフォルダを指定してください。

6. プリンタの選択

再びプリンタ機種の選択画面が表示されます。
使用するプリンタを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

● プリンタドライバの更新

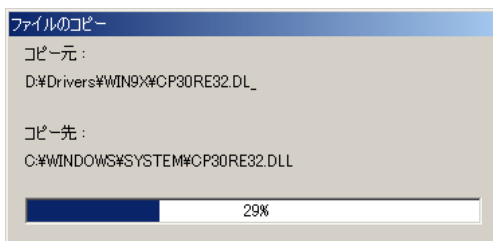
コンピュータに本プリンタ用のプリンタドライバが既にインストールされている場合、左図のダイアログボックスが表示されることがあります。
新しいプリンタドライバをインストールするために、必ず「新しいドライバに置き換える」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

7. プリンタ ポートの選択

プリンタが接続されているポートを設定します。
適切なポートを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

※USBポートへの接続の場合、プラグ アンド プレイによるUSBポートの作成が必要です。
※LANのLPRポートへの接続の場合、CP-LPRのインストールおよびLPRポートの作成が必要です。

8. プリンタ名の設定

必要に応じてプリンタの名前を変更します。
「このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？」は「はい」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

9. テスト印刷

インストール後、プリンタ機能を確認するためにテストページを印刷することができます。
テストページを印刷するには「はい」を選択して「完了」ボタンをクリックします。

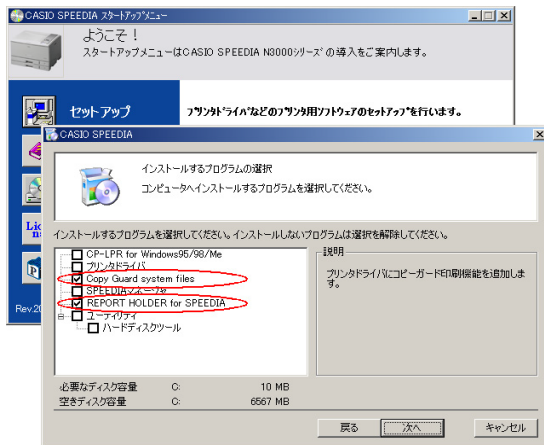
10.「完了」ボタンをクリックするとインストールの準備は完了です

ファイルのインストールが開始されます。

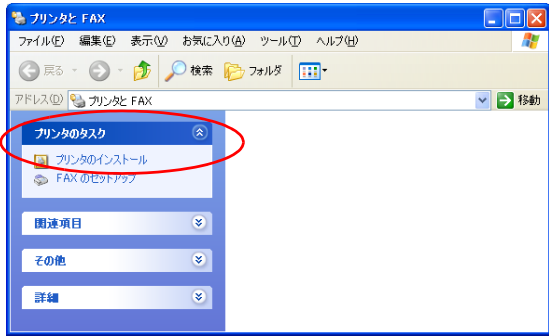
11. ファイルのコピー

プリンタドライバに必要なファイルがインストールされます。
ファイルのコピーが終了すると、プリンタのアイコンが作成されます。アイコンが作成されたらインストールは完了です。

● **REPORT HOLDER印刷機能／コピーガード印刷機能の追加**

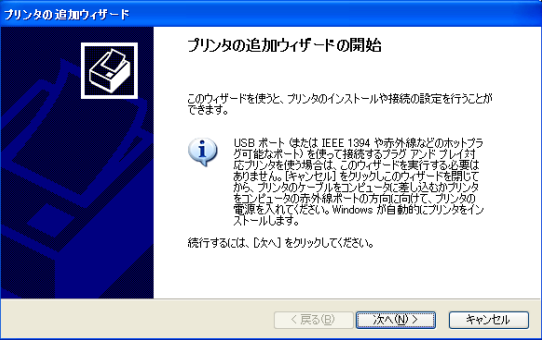
REPORT HOLDER印刷機能（ **6.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト: REPORT HOLDER印刷）（39 ページ）**）、コピーガード印刷機能（ **6.8 文書にセキュリティ情報を付加して印刷する（40 ページ）**）は、プリンタの追加ウィザードではインストールされません。

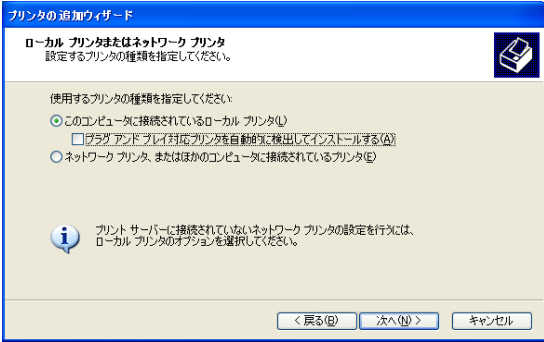
それぞれの印刷機能を追加するには、CD-ROMのセットアップを実行してセットアップタイプ「カスタム」でインストールしてください。

Windows 2000/XP/Server 2003のプリンタの追加ウィザード

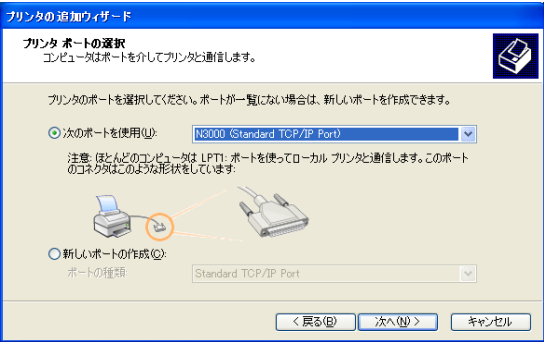
※ 画面はWindows XPの画面です。その他のOSでは画面やメッセージが異なる部分がありますが、基本的な流れは同様です。

1. プリンタドライバのインストール

「スタート」メニューの「プリンタと FAX」を選択して「プリンタと FAX」フォルダを開きます。
※ Windows 2000は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

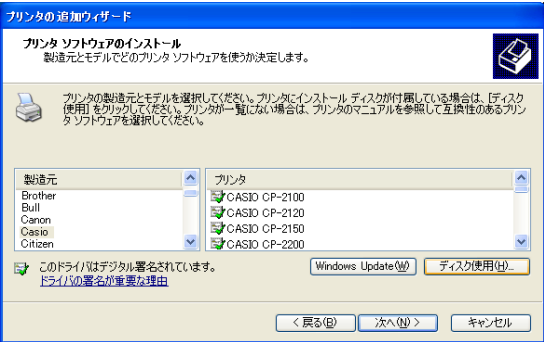
「プリンタと FAX」フォルダ（Windows 2000は「プリンタ」フォルダ）の「プリンタの追加」をダブルクリックして、プリンタドライバをインストールするためのウィザードの画面を表示します。
※ Windows XPは、プリンタのタスク「プリンタのインストール」をクリックします。

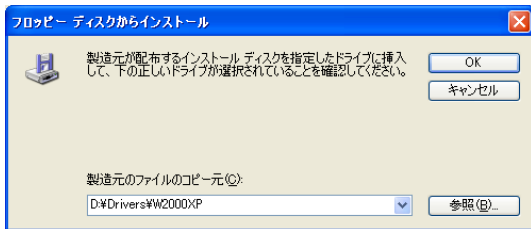
ウィザードの画面メッセージに従って、プリンタドライバをインストールします。
ウィザードの内容はOSによって異なります。

2. プリンタの追加ウィザードの開始

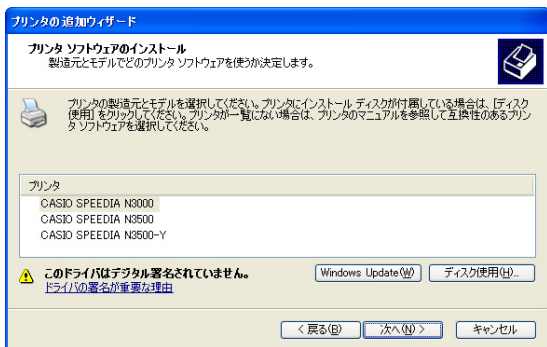
プリンタの追加ウィザードでは、画面のメッセージに従って必要な項目を各画面で設定し「次へ」ボタンをクリックして進行します。
プリンタの追加ウィザードが表示されたら「次へ」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

3. 接続先の選択

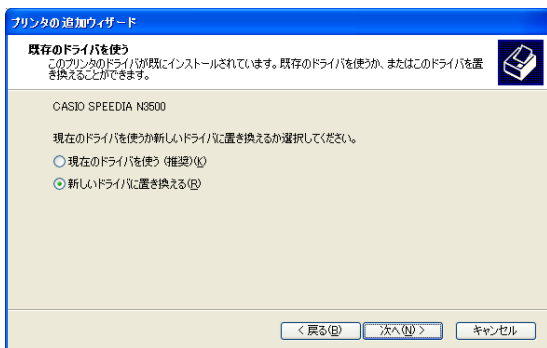
プリンタの接続形態を選択します。
「このコンピュータに接続されているローカル プリンタ」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

4. プリンタ ポートの選択

プリンタが接続されているポートを設定します。
適切なポートを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

※ USBポートへの接続の場合、プラグ アンド プレイ によるUSBポートの作成が必要です。

5. プリンタの選択

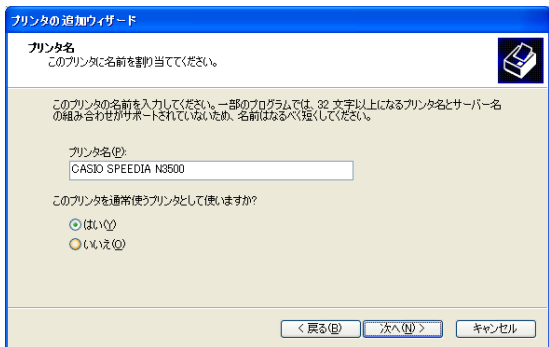
プリンタ機種を選択します。
「ディスク使用」ボタンをクリックして新しいプリンタをインストールします。

6.インストールディスクの指定

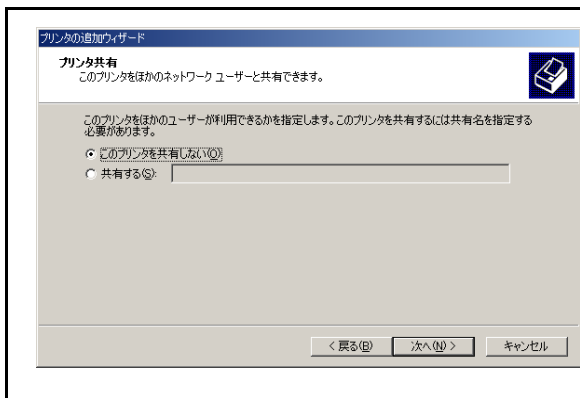
インストールするディスクを指定します。
CD-ROMからインストールするには、「D:¥Drivers¥W2000XP」（DドライブがCD-ROMドライブの場合）を指定します。
その他のディスクからインストールする場合は、各ディスクの適切なフォルダを指定してください。

7.プリンタの選択

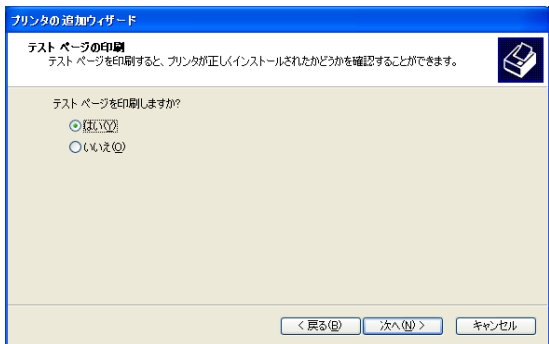
再びプリンタ機種の選択画面が表示されます。
使用するプリンタを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

●プリンタドライバの更新

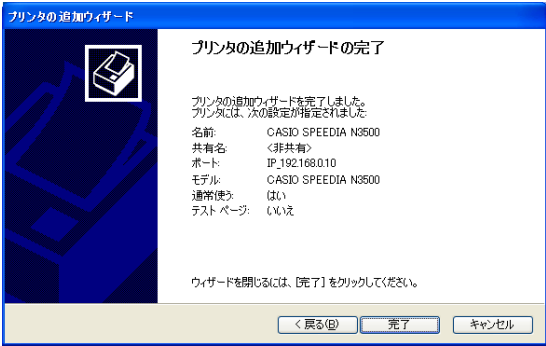
コンピュータに本プリンタ用のプリンタドライバが既にインストールされている場合、左図のダイアログボックスが表示されることがあります。
新しいプリンタドライバをインストールするために、必ず「新しいドライバに置き換える」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

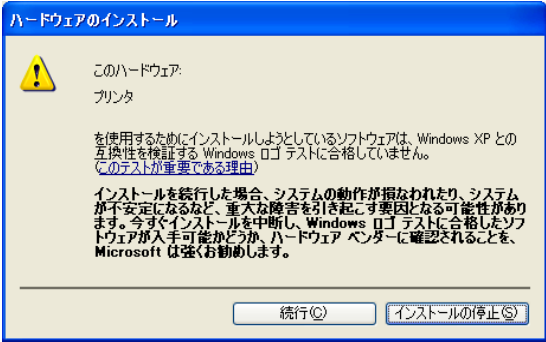
8. プリンタ名の設定

必要に応じてプリンタの名前を変更します。
「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」は「はい」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

● プリンタ共有

Windows 2000環境の場合、左図のダイアログボックスが表示されます。
プリンタをほかのユーザと共有するかを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

9. テスト印刷

インストール後、プリンタ機能を確認するためにテストページを印刷することができます。
テストページを印刷するには「はい」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

10.「完了」ボタンをクリックするとインストールの準備は完了です

ファイルのインストールが開始されます。

● デジタル署名の確認

ファイルのインストール前に、左図のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスが表示された場合は、「続行」ボタンをクリックしてインストールを続けてください。

11.ファイルのコピー

プリンタドライバに必要なファイルがインストールされます。
ファイルのコピーが終了すると、プリンタのアイコンが作成されます。アイコンが作成されたらインストールは完了です。

●REPORT HOLDER印刷機能／コピーガード印刷機能の追加

REPORT HOLDER印刷機能（ **6.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト: REPORT HOLDER印刷）（39 ページ）**）、コピーガード印刷機能（ **6.8 文書にセキュリティ情報を付加して印刷する（40 ページ）**）は、プリンタの追加ウィザードではインストールされません。

それぞれの印刷機能を追加するには、CD-ROMのセットアップを実行してセットアップタイプ「カスタム」でインストールしてください。

●標準 TCP/IPポート モニタの構成について

「プリンタの追加」によるインストールで作成されるポートの設定は次の通りです。

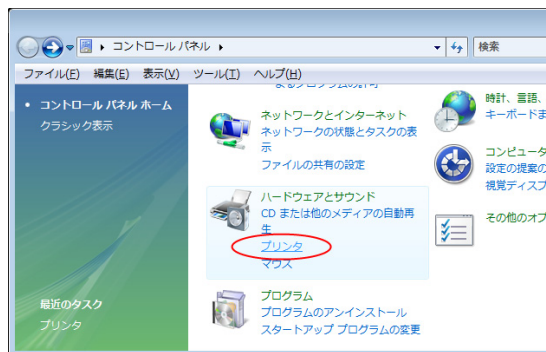
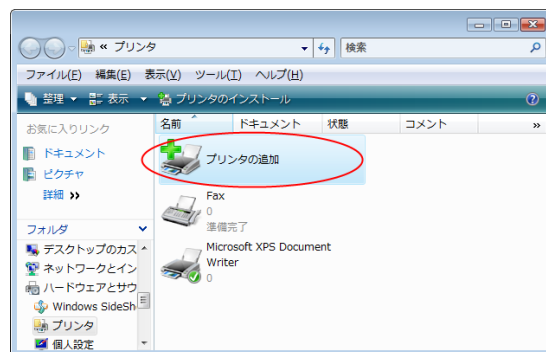
プロトコル：LPR
LPR 設定 ：キュー名「presto0」／ LPRバイト カウントを有効にする「OFF」

本プリンタは、この設定のままで印刷を行うことができますが、下記設定に変更することもできます。
※ CD-ROMからセットアップウィザードを使用してインストールした場合はこの設定となります。
※ どちらの設定でも機能や印刷速度などに違いはありません。

プロトコル：Raw
Raw 設定 ：ポート番号「9100」

Windows Vistaのプリンタの追加ウィザード

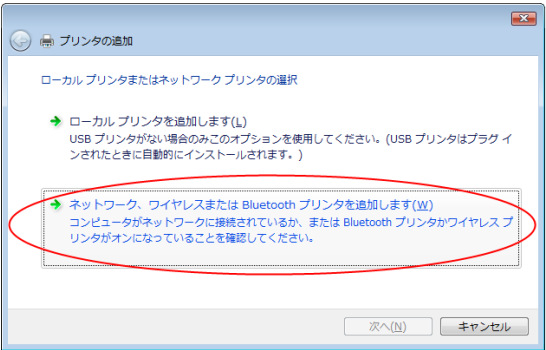
1. プリンタドライバのインストール

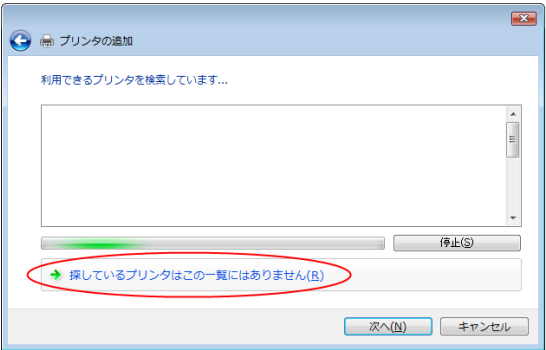
「スタート」メニューの「コントロールパネル」を選択して「コントロールパネル」を開きます。

次に「ハードウェアとサウンド」のグループにある「プリンタ」を選択して「プリンタ」フォルダを開きます。

2. プリンタの追加ウィザードの開始

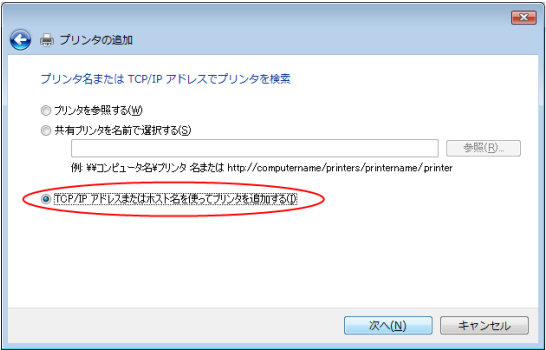
プリンタの追加ウィザードでは、画面のメッセージに従って必要な項目を各画面で設定し「次へ」ボタンをクリックして進行します。

3. 接続先の選択

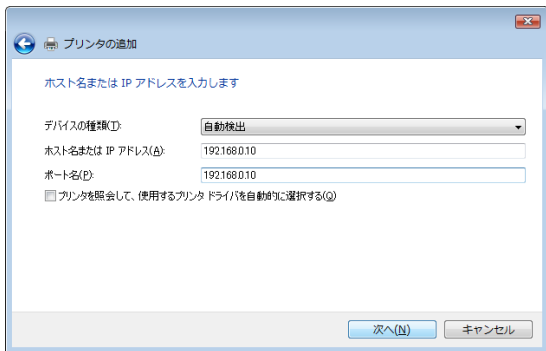
プリンタの接続形態を選択します。
「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

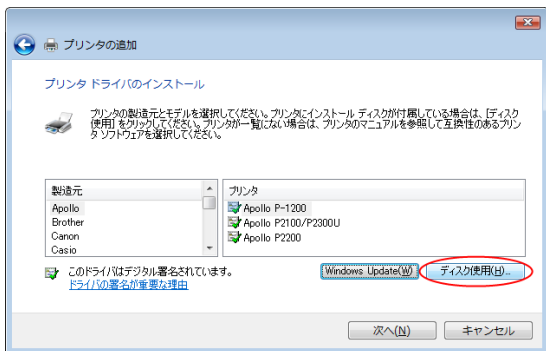
※USBポートへの接続の場合、CD-ROMからセットアップウィザードを使用してセットアップを行ってください。

4. 利用できるプリンタの検索

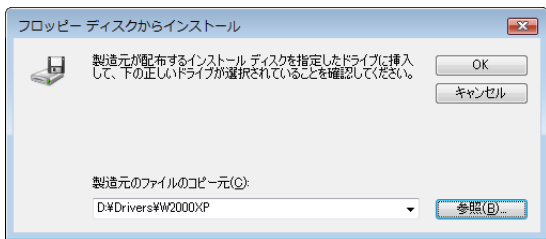
利用できるプリンタが検索され表示されます。
他のコンピュータに接続された共有プリンタを利用する場合は、表示されたプリンタを選択して「次へ」ボタンをクリックします。
ここでは、TCP/IPで直接接続する設定を行います。「探しているプリンタはこの一覧にはありません」を選択します。

5. プリンタの追加

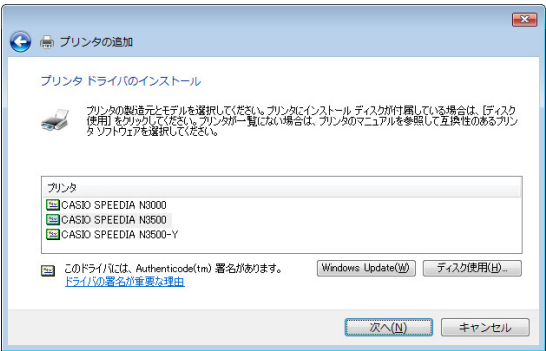
「TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

6. ホスト名またはIP アドレスの入力

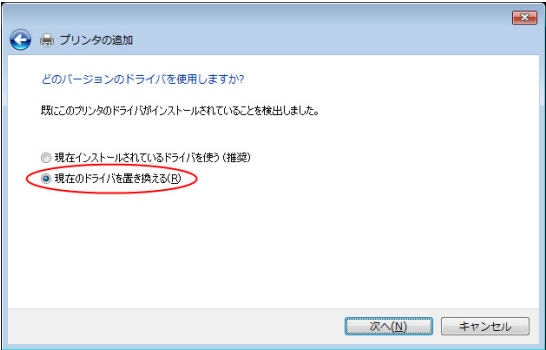
ホスト名またはIPアドレスを入力します。
ポート名は自動的に入力されます。必要に応じて名称を変更します。

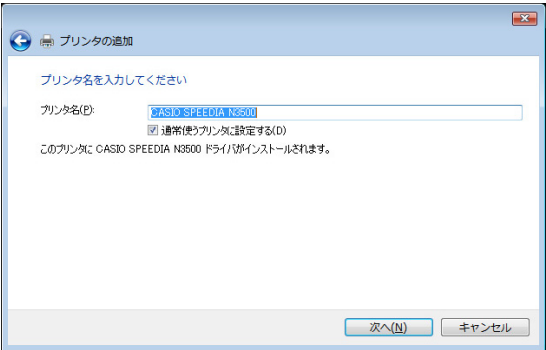
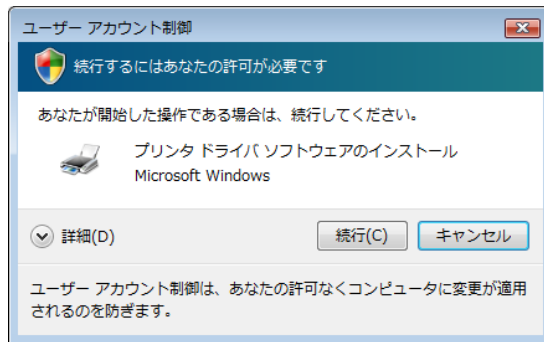
「プリンタを照会して、使用するプリンタ ドライバを自動的に選択する」のチェックをはずして「次へ」ボタンをクリックします。

7. プリンタ ドライバのインストール

プリンタ機種を選択します。
「ディスク使用」ボタンをクリックして新しいプリンタドライバをインストールします。

8. インストール ディスクの指定

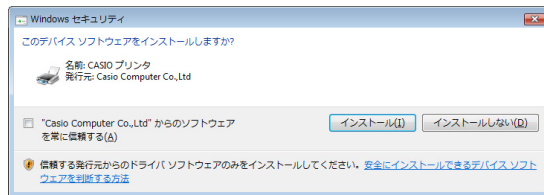
インストールするディスクを指定します。
CD-ROMからインストールするには、「D:¥Drivers¥W2000XP」（DドライブがCD-ROMドライブの場合）を指定します。
その他のディスクからインストールする場合は、適切なドライブとフォルダを指定してください。

9. プリンタの選択

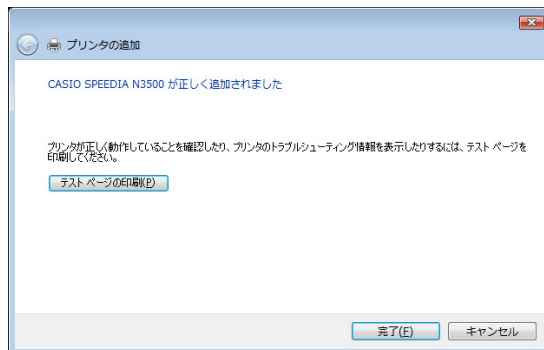
再びプリンタ機種の選択画面が表示されます。
使用するプリンタを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

● プリンタドライバの更新

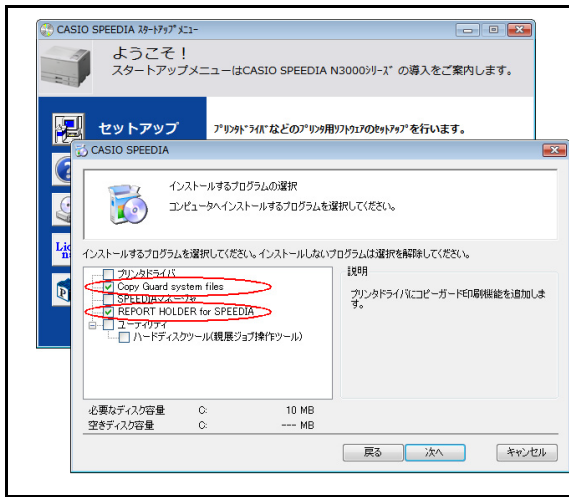
コンピュータに本プリンタ用のプリンタドライバが既にインストールされている場合、左図のダイアログボックスが表示されることがあります。
新しいプリンタドライバをインストールするために、必ず「現在のドライバを置き換える」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

10. プリンタ名の設定

必要に応じてプリンタの名前を変更します。
「通常使うプリンタに設定する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

11. ユーザー アカウント制御

プリンタドライバをインストールするには管理者の許可が必要です。
「続行」ボタンをクリックします。

※ 管理者以外のユーザの場合、管理者パスワードが必要です。

12. Windows セキュリティダイアログボックス

「インストール」ボタンをクリックします。

13. プリンタの追加完了

「完了」ボタンをクリックするとインストールは完了です。
必要に応じて「テスト ページの印刷」ボタンをクリックしてテストページを印刷します。

● REPORT HOLDER印刷機能／コピーガード印刷機能の追加

REPORT HOLDER印刷機能（ ☞ **6.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト: REPORT HOLDER印刷）（39 ページ）**）、コピーガード印刷機能（ ☞ **6.8 文書にセキュリティ情報を付加して印刷する（40 ページ）**）は、プリンタの追加ウィザードではインストールされません。

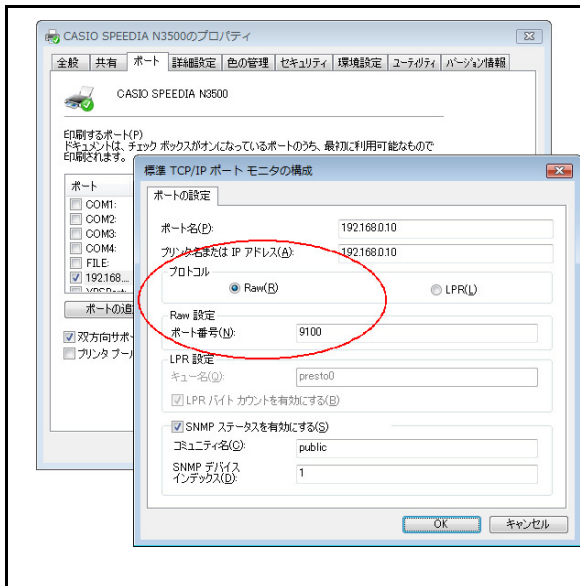
それぞれの印刷機能を追加するには、CD-ROMのセットアップを実行してセットアップタイプ「カスタム」でインストールしてください。

● 標準 TCP/IPポート モニタの構成について

「プリンタの追加」によるインストールで作成されるポートの設定は次の通りです。

プロトコル: LPR
LPR 設定 ：キュー名「presto0」／ LPRバイト カウントを有効にする「OFF」

本プリンタは、この設定のままで印刷を行うことができますが、下記設定に変更することもできます。
※ CD-ROMからセットアップウィザードを使用してインストールした場合はこの設定となります。
※ どちらの設定でも機能や印刷速度などに違いはありません。

プロトコル: Raw
Raw 設定 ：ポート番号「9100」

カシオ計算機株式会社
国内営業統轄部　システム企画部　MSP企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4638

西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-864-3025
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
カスタマーコンタクトセンター	市内通話料でOK ナビダイヤル 0570-066044

インターネット・ホームページ　http://casio.jp/

SPEEDIA N3000シリーズ

ソフトウェアマニュアル　プリンタドライバ編

2007年4月3日　第5版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社